大阪府立布施工科高等学校　令和２年度　学校教育自己診断の結果と分析（令和２年12月実施分）

【学校生活】「学校が楽しい」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	58%	61%	3% Up	34%	32%	2% Down
保護者	67%	72%	5% Up	27%	22%	5% Down

□昨年度に比べて、肯定について生徒保護者ともに若干増加し、否定に関しては生徒保護者ともに若干減少している。今後もより一層生徒が楽しく学べる環境、興味の持てる実習教材・授業・実習を構築し、楽しい学校づくりに向けた取り組みが必要である。

【学習指導】「わかる授業」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	57%	65%	8% Up	36%	27%	9% Down
教職員	73%	92%	19% Up	12%	3%	9% Down

□昨年度に比べて、生徒の肯定が増加し、否定も減少している。教員の肯定が著しく増加し、否定も減少していることから、生徒・教員との認識にはかい離があるものの、昨年より授業の工夫・改善がみられる結果となっている。
本年度も、より一層教員が生徒に寄り添った、「わかりやすい授業づくり」を推進する必要がある。

【生徒指導】「適切である」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	71%	70%	1% Down	19%	20%	1% Up
保護者	69%	64%	5% Down	22%	23%	1% Up

□昨年度に比べて、生徒・保護者の肯定が若干減少しているが、「適切である」というイメージが70%であった。昨今の生徒・保護者の期待する的確性や客観性に基づいた指導について、再検討する必要がある。

「納得できる」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	62%	62%	－	26%	30%	4% Up
保護者	73%	67%	6% Down	24%	28%	4% Up

□「生徒指導への納得」について生徒・保護者の肯定が共に減少し、否定が増加している。生徒・保護者が求める指導方法の模索と共通理解、連絡や対話を更に密にする必要がある。

【キャリア教育】「インターンシップ等の取組み」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	68%	57%	11% Down	17%	21%	4% Up
保護者	78%	66%	12% Down	9%	12%	3% Up

□今年度「インターンシップ」の取組みに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止となった。

生徒・保護者ともに肯定が 10%以上減少していることから、期待感が大きかったことがうかがえる。生徒・保護者の期待に応えるよう、本校重点化の取組みとして取り組む必要がある。

【進路指導】「職業観・勤労観の育成」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	74%	80%	6% Up	17%	14%	3% Down
保護者	77%	78%	1% Up	10%	10%	−

□昨年度に比べて、肯定が若干増加。引き続き、望ましい職業観・勤労観の育成についての充実を図る必要がある。

【人権教育】「学ぶ機会が多い」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	67%	74%	7% Up	24%	19%	5% Down
教職員	61%	75%	14% Up	28%	11%	17% Down

□昨年度に比べて、教員の肯定が大幅に増加し、否定が大幅に減少している。人権意識の醸成のため、「学ぶ機会」のより一層の充実を図る必要がある。

【いじめ】「いじめ対応」

	肯定的評価			否定的評価		
	R1	R2	±	R1	R2	±
生徒	52%	55%	3% Up	18%	16%	2% Down
教職員	82%	85%	3% Up	12%	16%	4% Up

□昨年度に比べて生徒の否定が若干減少している。教職員の否定が増加している。いじめに関しては、未然の防止対策が重要である。校内体制を再度確認し、本校の指導方針について生徒や保護者に共通理解していただくとともに、さらなる信頼感と安心感を持っていただく必要がある。